
為替相場展望

2013年8月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

- ◆為替相場概説・・ p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
- ◆米金融緩和の出口に対する思惑に翻弄されるドル円相場・・・・・・・・・・・・ p. 3
- ◆ECBのフォワード・ガイダンス導入後も底堅いユーロ・・・・・・・・・・・・ p. 4
- ◆二極化する先進国・新興国経済と円相場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 6
- ◆内外市場データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 7

調査部 マクロ経済研究センター

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2013年8月5日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説 (2013年8月)

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<7月のドル円相場>

良好な米雇用統計等を背景に、F R Bの量的緩和早期縮小観測が強まり、8日にかけて101円台まで円安ドル高が進行。もっとも、その後はバーナンキF R B議長発言等を受けて、利上げを急がないというF R Bの姿勢が明確になったことから、97円台まで円高ドル安が進行。

<7月のユーロ相場>

ユーロは130円前後で一進一退の展開。月初は、E C Bのフォワード・ガイダンス導入等を受けた低金利長期化観測から、10日にかけて128円台までユーロが下落。その後、ユーロ圏の景況感改善等を受けて、下旬にかけて132円台までユーロが反発。

2. 米金融緩和の出口に対する思惑に翻弄されるドル円相場

6月F O M C後から7月上旬にかけての米金利の上昇には、行き過ぎた利上げへの期待が織り込まれていた公算大。もっとも、中旬以降は、バーナンキ議長の発言等を通じて、F R Bは今後の景気指標次第で量的緩和縮小に着手するものの、そのことが利上げ時期の前倒しを意味するものではないという見方が浸透し、市場の行き過ぎた利上げへの期待が後退したことを示唆。

当面を展望すると、F R Bの利上げを急がないという姿勢が明確になるなか、米金利の上昇余地は限られ、米金利の上昇をドライバーとしたドル高進行余地も限られる公算。もっとも、中長期的にみて円安ドル高が進むという見方は不変。米国景気の本格回復が視野に入るなか、今後、景気回復基調の強まりに裏付けられる形で米国金利が緩やかに上昇していけば、徐々に円安ドル高基調へ。

3. E C Bのフォワード・ガイダンス導入後も底堅いユーロ

E C Bの7月理事会でのフォワード・ガイダンス導入直後こそユーロが急落したものの、その後は反発し、底堅く推移。この要因として、ユーロ圏サイドからは、①E C Bのフォワード・ガイダンスの効果減衰、②ユーロ圏の景況感改善、③ユーロ圏の金融市場が引き締めの環境となっていること、等を指摘可能。

先行きを展望すると、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、E C Bの低金利政策が長期化する一方、景気の本格回復が視野に入った米国でF R B

の金融政策が出口に向かうにつれてユーロ安が進むという見方は不変。もっとも、ユーロ圏金利が低下しにくい状況下、当面はユーロが底堅く推移する見込み。

4. 二極化する先進国・新興国経済と円相場

F R BがQ E 3の縮小に着手すれば、Q E 3実施時に資金が流入していた先進国で、株価の調整が進むリスクがあるほか、Q E 1やQ E 2実施時に資金が流入していた新興国・資源国でも、株式・債券・通貨が下落するリスク。

2014年にかけて先進国景気は堅調、新興国景気は足踏みという潮流が強まっていくと予想されることを踏まえると、資金流出リスクは、先進国よりも新興国・資源国の方が大。

先進国では、F R BのQ E 3縮小により、一時的に株価の調整色が強まる可能性はあるものの、堅調な景気に支えられ、株価の調整余地は限られる公算。

一方、新興国では、資源・中国向け輸出への依存度が高く、成長期待が低下しやすい国等では、資金流出リスクが大。もっとも、新興国からの投機資金の逆流は、短期的には一巡しつつあり、今後、資金の逆流が生じても、中長期の投資主体が中心となり、そのペースは穏やかになる可能性。

以上を踏まえると、今後、F R BがQ E 3縮小に着手しても、先進国・新興国いずれとも急速な資金の逆流は生じるリスクは低下しており、リスク回避の円買い余地は限られる公算。中長期的にみれば、米国景気の本格回復が視野に入るなか、米国金利の緩やかな上昇や、グローバル投資家のリスクテイク志向の高まりが予想され、円安ドル高基調が明確になる公算大。

5. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

米金融緩和の出口を巡る思惑が交錯するなか、当面は方向感を欠いた展開が続く見通し。もっとも、日米金融政策の方向性の違い明確化等により、中長期的な円安ドル高基調は不変。米国景気の後復基調が強まるとともに、円安ドル高基調に復していく見込み。

<ユーロ相場の見通し>

対円では、ユーロ圏の景況感が持ち直しに転じるなか、ユーロが引き続き底堅く推移する見通し。もっとも、ユーロ圏景気の本格回復は見込み薄であるなか、フォワード・ガイダンスを導入したE C Bの低金利長期化が予想されることから、ユーロの上値が重い展開が続く見込み。

上旬は米国の量的緩和縮小観測が強まり、ドル高となったものの、中旬以降は、米国で緩和的な金融政策が続くとの見方が強まり、ドルの重しに。

<7月のドル円相場>

5日に発表された米雇用統計の改善等を受けて、FRBの量的緩和策の早期縮小観測が強まり、8日にかけて101円台半ばまで円安ドル高が進行。もっとも、バーナンキFRB議長が10日の講演で利上げを急がないことを強調したことから、11日にかけて98円台までドルが急落。月半ばは、良好な米景気指標や参院選での与党大勝見通しを受けた改革進展への期待などから、円が100円台まで弱含み。下旬は、米国の金融緩和が長期化するとの見方が続いたほか、21日の参院選が事前予想通りの結果となり、日本側の円安材料の出尽くし感が強まったこと等から、月末にかけて97円台まで円高ドル安が進行。

<7月のユーロ相場>

対ドルでは、ECBが4日の理事会でフォワード・ガイダンスを導入したこと等を受けて、ECBの低金利長期化観測が強まる一方、米国では雇用統計の改善等を受けてFRBの量的緩和策の早期縮小観測が強まり、10日にかけて1.27ドル台半ばまでユーロ安が進行。もっとも、バーナンキFRB議長が10日の講演で利上げを急がないことを強調して以降、FRBの緩和的な金融政策が続くとの見方が強まったほか、ユーロ圏の景況感が改善したことから、月末にかけて一時1.33ドル台までユーロがジリ高の展開。

対円では、ECBが4日の理事会でフォワード・ガイダンスを導入したこと等を受けて、10日にかけて128円台割れ寸前までユーロが下落したものの、その後は、わが国での参院選後の改革進展への期待やユーロ圏の景況感改善等から、24日にかけて132円台後半までユーロが反発。もっとも、21日の参院選が事前予想通りの結果となり、日本側の円安材料の出尽くし感が強まるなか、月末にかけて129円台まで円が強含み。



当面は、米金利上昇をドライバーとしたドル高進行余地は限られる公算。もっとも、中長期的にみて円安ドル高が進むという見方は不変。

ドル円相場は、7月入り後もFRBの金融緩和の出口に対する思惑に翻弄される展開が持続。上旬は、FRBの量的緩和縮小観測が強まり、米金利が上昇するなかで円安ドル高が進行。もっとも、10日のバーナンキFRB議長発言以降は、米国の緩和的な金融政策が長期化するという見方が強まり、米金利が低下するなかで円安ドル高に振れる展開。

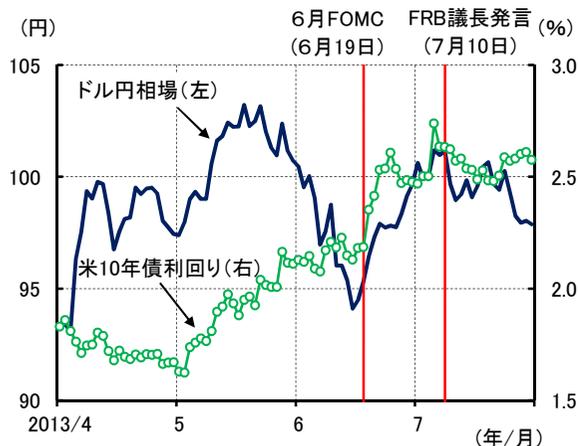
6月FOMC後から7月上旬にかけての米金利の上昇には、FRBの量的緩和縮小・終了だけでなく、行き過ぎた利上げへの期待も織り込まれていた公算大。6月FOMC声明と同時に示された金利見通しでは、大多数のFOMC参加者が2015年の利上げを予想。もっとも、市場が織り込む2015年末時点のFF金利水準(=FF金利先物)は、6月FOMC以前の0.75%から7月上旬には一時、FOMC参加者の見通しの平均(約1.17%)を上回る1.25%超まで上昇。

足許(7月末)では、市場が織り込む2015年末のFF金利水準(FF金利先物)が、FOMC参加者の見通しの平均を下回る1.00%割れまで低下。6月FOMC以降のバーナンキ議長の発言等を通じて、FRBは今後の景気指標次第で量的緩和縮小に着手するものの、そのことが利上げ時期の前倒しを意味するものではないという見方が浸透し、市場の行き過ぎた利上げへの期待が後退したことを示唆。

当面を展望すると、FRBが今後の景気指標次第で量的緩和縮小に着手しても、利上げを急がないという姿勢を強調するなか、米金利の上昇余地は限られ、米金利の上昇をドライバーとしたドル高進行余地も限られる公算。

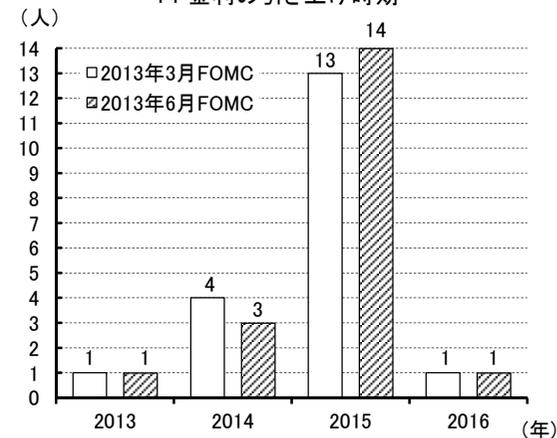
もっとも、中長期的にみて円安ドル高が進むという見方は不変。米国景気の本格回復が視野に入るなか、今後、景気回復基調の強まりに裏付けられる形で米国金利が緩やかに上昇していけば、徐々に円安ドル高基調に復帰していく見通し。

ドル円相場と米10年債利回りの推移



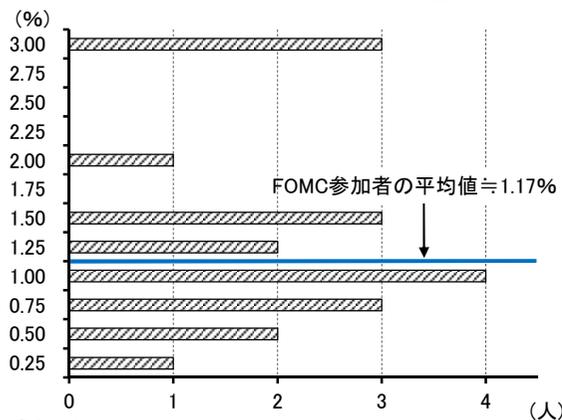
(資料)Bloomberg L.P.

FOMC参加者が望ましいと考えるFF金利の引き上げ時期



(資料)米FRB

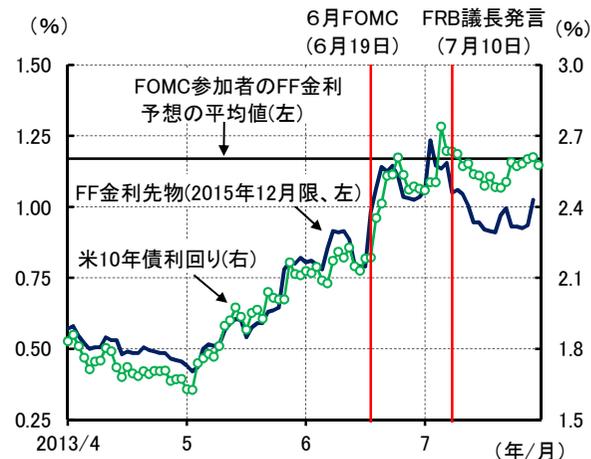
FOMC参加者が予想する2015年末におけるFF金利の水準(2013年6月見通し)



(資料)米FRB

(注)FOMC参加者の平均値は、上下3人を除いた平均値。

FF金利先物(2015年12月限)と米10年債利回り



(資料)米Chicago Board of Trade、Bloomberg L.P.

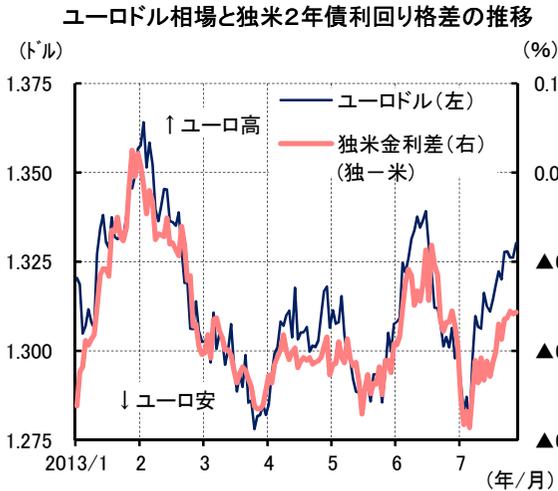
FRBの金融政策が出口に向かうにつれてユーロ安が進む公算が大ながら、当面はユーロが底堅く推移する見込み。

7月のユーロの対ドル相場は、ECBのフォワード・ガイダンス導入等を受けて、10日にかけてユーロが急落したものの、中旬以降は、ユーロが反発。7月入り後もユーロの対ドル相場が独米2年債利回り格差との高い相関を維持していることを踏まえ、ユーロが反発した要因は、独米金利差の変動要因である米金利の低下要因と独金利の上昇要因に分けて説明が可能。まず、米金利の低下は、FRBの緩和的な金融政策が続くとの見方が強まったことが主因。一方、独金利の上昇要因としては、以下の3点を指摘可能。

第1は、ECBのフォワード・ガイダンスの効果減衰。ECBのフォワード・ガイダンスの時間軸が曖昧であったほか、ガイダンス導入後、ECB内で時間軸のコンセンサスができていないことが露呈。第2は、ユーロ圏の景況感改善。6月ユーロ圏失業率が過去最悪水準で推移するなど、ユーロ圏景気が実体面で最悪期を脱したとは判断できないものの、7月ユーロ圏PMIが大幅改善するなど、ユーロ圏のセンチメントは改善。第3は、ユーロ圏の金融市場が引き締め的な環境となっていること。長期リファイナンス・オペ(LTRO)の前倒し返済等が進むなか、市場からの流動性の吸収が進展(ECBのバランスシートは縮小)。ユーロ圏の短期金利の上昇を通じて独2年債利回りが上昇しやすい環境。

ちなみに、ユーロ圏の政策金利の先行きに対する市場の見方を反映するユーロ圏のOISの利回り曲線を見ると、ECBのガイダンス導入直後こそ下方シフトしたものの、その後は、再び上方シフト。フォワード・ガイダンスの効果が打ち消されつつあることを示唆。

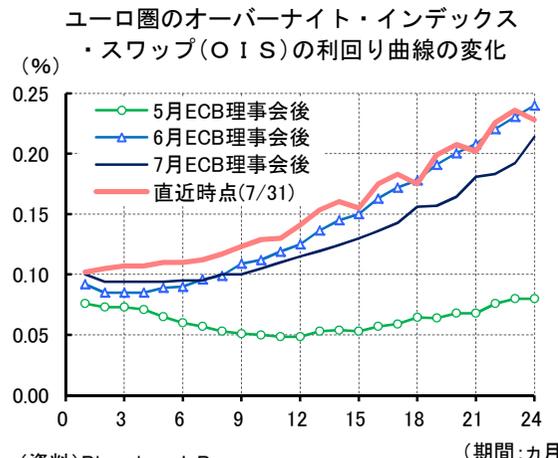
先行きを展望すると、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、ECBの低金利政策が長期化する一方、景気の本格回復が視野に入った米国でFRBの金融政策が出口に向かうにつれてユーロ安が進むという見方は不変。もっとも、ユーロ圏金利が低下しにくい状況下、当面はユーロが底堅く推移する見込み。



(資料)Bloomberg L.P.

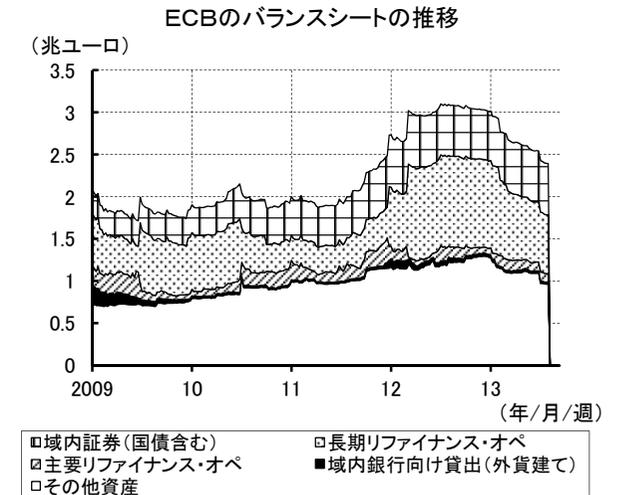


(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.

(注)いずれのイベントも市場への織り込まれるスピードを考慮するため、翌日の値を使用。



(資料)ECB

QE3が縮小されても、リスク回避の円買い余地は限られる公算。中長期的には、金利差拡大とリスクテイク志向の高まりにより、円安ドル高基調へ。

FRBがQE3の縮小に着手すれば、QE3実施時に資金が流入していた先進国で、株価の調整が進むリスクがあるほか、QE1やQE2実施時に資金が流入していた新興国・資源国でも、株式・債券・通貨が下落するリスク。

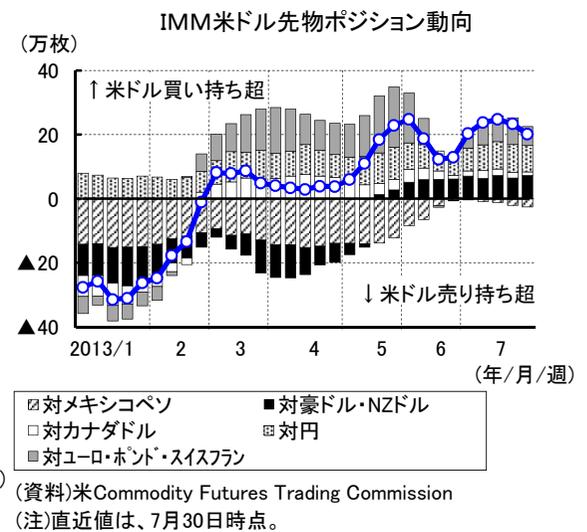
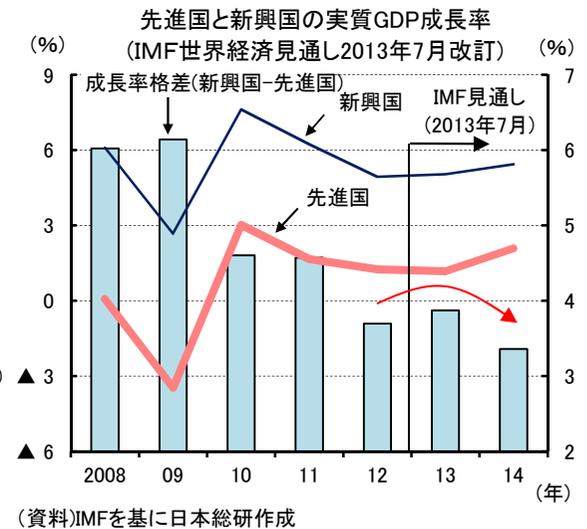
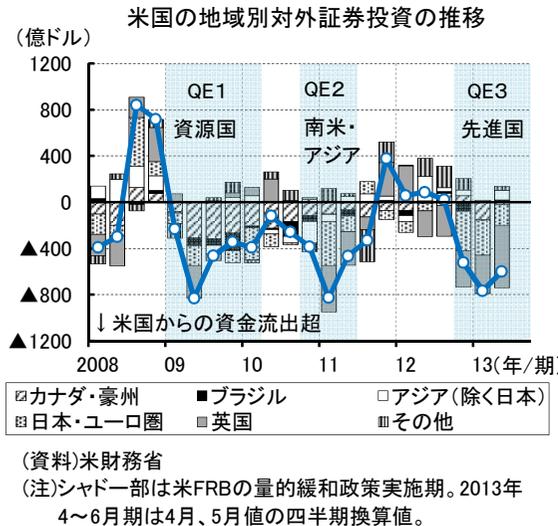
足許の経済状況を踏まえると、資金流出リスクは、先進国よりも新興国・資源国の方が大。先進国と新興国の成長率格差は2013年こそ小幅拡大するものの、2014年にかけて縮小し、先進国景気は堅調、新興国景気は足踏みという潮流が強まっていく見込み。

先進国では、米国経済の本格回復が視野に入っているほか、日本もアベノミクスが景気を押し上げ、QE3縮小により、一時的に株価の調整色が強まる可能性はあるものの、堅調な景気に支えられ、株価の調整余地は限られる公算。

一方、新興国では、これまで世界景気を牽引してきた中国経済が過剰投資という歪みを抱え、いよいよ減速へ。それに伴い、アジア新興国や資源国でも景気減速色が強まる方向。資源・中国向け輸出への依存度が高く、成長期待が低下しやすい国などでは、資金流出リスクが大。足元で堅調な先進国の株価に対し、低調な新興国の株価は、世界経済を牽引してきた新興国が変調をきたし始めていたところに、FRBのQE3縮小観測が加わったため、新興国から先進国にマネーが逆流し始めていることを示唆。

もっとも、新興国からの投機資金の逆流は、短期的には一巡しつつある公算。投機筋の動向を示すシカゴIMM通貨先物取引(非商業部門)をみると、積み上がっていた新興国通貨・資源国通貨の自国通貨買い・米ドル売りのポジションの巻き戻しが進展。今後、資金の逆流が生じても、中長期の投資主体が中心となり、そのペースは穏やかになる可能性。

以上を踏まえると、今後、FRBがQE3縮小に着手しても、先進国・新興国いずれとも急速な資金の逆流が生じるリスクは低下しており、リスク回避の円買い余地は限られる公算。中長期的にみれば、米国景気の本格回復が視野に入るなか、米金利の緩やかな上昇や、投資家のリスクテイク志向の高まりが予想され、円安ドル高基調が明確になる公算大。



【ドル円】当面は方向感を欠くものの、徐々に円安ドル高基調に復帰へ。 【ユーロ】ユーロの上値が重い展開が続く見通し。

＜ドル円相場の見通し＞

F R Bの金融緩和の出口に対する思惑が交錯するなか、ドル円のドライバーとなる米金利や市場のリスク許容度に方向感が出にくく、ドル円も方向感を欠いた展開が続く公算大。

もっとも、①日米の金融政策スタンスの方向性の違いが明確化していること、②わが国貿易赤字の定着を主因に需給面で円高圧力が後退していること、等により、中長期的な円安ドル高基調は不変。

年末にかけてF R BがQ E 3縮小に着手すれば、リスク回避の動きが強まり、一時的に円高に振れる可能性が残るものの、米国景気の本格回復が視野に入るなか、景気回復に裏付けられる形で米国金利が緩やかに上昇するとともに、投資家のリスクテイク志向が高まっていけば、円安ドル高基調に復帰していく見通し。

＜ユーロ相場の見通し＞

ユーロ圏の景況感が持ち直しに転じるなか、当面は、対ドル、対円でユーロの底堅い展開が続く見込み。

もっとも、対ドルでは、米欧の金融政策の方向性の違いが明確化するなか、ドル高ユーロ安の方向性は不変。ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、E C Bの金融緩和が長期化する一方、景気の本格回復が視野に入った米国でF R Bの金融政策が出口に向かうにつれてユーロ安が進行する公算大。

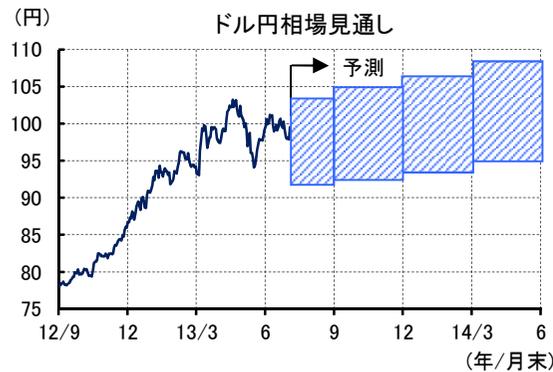
対円では、日銀の金融緩和と長期化が予想される一方、ユーロ圏でもE C Bの低金利政策の長期化が予想されることから、ユーロの上値が重い展開が続く見通し。

なお、債務問題の抜本的解決にお時間を要するとみられるなか、ユーロ圏政治情勢に混乱が生じれば、対ドル、対円でユーロ下振れ要因に。

ドル円相場見通し

	2013年			2014年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	98.7	98	99	100	102
(高値)	103.7	104	105	106	108
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	92.6	94	95	96	96

予測



ユーロ円相場見通し

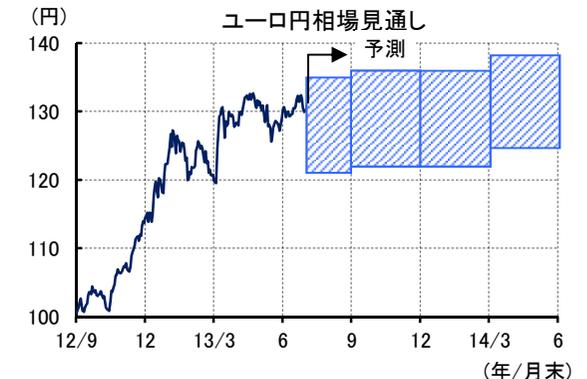
	2013年			2014年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	128.9	128	129	129	131
(高値)	133.8	135	136	136	138
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	119.1	121	122	122	124

予測

ユーロドル相場見通し

	2013年				
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	1.31	1.31	1.30	1.29	1.28
(高値)	1.34	1.36	1.35	1.34	1.33
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.27	1.26	1.25	1.24	1.23

予測



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担0/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF 0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユーロ・ ストックス50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
10/1	91.22	130.20	1.4272	0.0964	0.45	1.33	10661.62	0.11	0.25	3.71	10471.24	1123.58	0.34	0.68	3.29	3.97	2922.72	78.40	1117.09
10/2	90.16	123.35	1.3682	0.1007	0.44	1.33	10175.13	0.13	0.25	3.68	10214.51	1089.16	0.34	0.66	3.19	4.02	2727.48	76.45	1097.81
10/3	90.72	123.12	1.3574	0.0973	0.44	1.34	10671.49	0.16	0.27	3.72	10677.52	1152.05	0.35	0.65	3.13	4.02	2890.47	81.29	1114.57
10/4	93.49	125.54	1.3428	0.0929	0.41	1.35	11139.77	0.20	0.31	3.82	11052.15	1197.32	0.35	0.65	3.09	3.99	2937.30	84.58	1149.50
10/5	91.88	115.21	1.2535	0.0908	0.39	1.27	10103.98	0.20	0.46	3.40	10500.19	1125.06	0.34	0.69	2.80	3.72	2642.13	74.12	1206.58
10/6	90.81	110.89	1.2212	0.0948	0.39	1.20	9786.05	0.18	0.54	3.19	10159.27	1083.36	0.35	0.73	2.63	3.49	2641.66	75.40	1233.98
10/7	87.56	112.09	1.2803	0.0944	0.37	1.10	9456.84	0.18	0.51	2.98	10222.24	1079.80	0.48	0.85	2.65	3.38	2669.50	76.38	1192.99
10/8	85.37	110.12	1.2898	0.0950	0.37	0.98	9268.23	0.19	0.36	2.68	10350.40	1087.28	0.43	0.90	2.37	3.07	2712.23	76.67	1217.90
10/9	84.38	110.47	1.3093	0.0912	0.36	1.06	9346.72	0.19	0.29	2.64	10598.07	1122.08	0.45	0.88	2.34	3.02	2766.09	75.55	1272.30
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	81.97	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	84.31	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	89.23	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	89.58	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91
12/12	83.91	110.16	1.3127	0.0822	0.32	0.74	9814.38	0.16	0.31	1.71	13144.18	1422.29	0.07	0.19	1.36	1.85	2625.55	88.25	1683.45
13/1	89.10	118.53	1.3302	0.0828	0.30	0.77	10750.85	0.14	0.30	1.88	13615.32	1480.40	0.07	0.21	1.56	2.04	2715.30	94.83	1671.17
13/2	93.13	124.24	1.3339	0.0866	0.28	0.74	11336.44	0.15	0.29	1.97	13967.33	1512.31	0.07	0.22	1.60	2.11	2630.40	95.32	1626.95
13/3	94.87	122.92	1.2957	0.0780	0.25	0.60	12244.03	0.14	0.28	1.94	14418.26	1550.83	0.07	0.21	1.41	1.89	2680.18	92.96	1593.62
13/4	97.75	127.35	1.3025	0.0721	0.24	0.57	13224.06	0.15	0.28	1.73	14675.91	1570.70	0.08	0.21	1.25	1.71	2636.35	92.07	1485.09
13/5	100.99	131.05	1.2978	0.0734	0.23	0.78	14532.41	0.11	0.27	1.92	15172.18	1639.84	0.08	0.20	1.37	1.86	2785.77	94.80	1416.61
13/6	97.29	128.40	1.3200	0.0743	0.23	0.85	13106.62	0.09	0.27	2.29	15035.75	1618.77	0.09	0.21	1.62	2.21	2655.76	95.80	1342.47
13/7	99.64	130.47	1.3095	0.0734	0.23	0.83	14317.54	0.09	0.27	2.56	15390.21	1668.68	0.09	0.22	1.63	2.36	2686.53	104.70	1288.07

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2013年8月